

## 主催者挨拶 石田高久(警視庁生活安全部長)

皆さん、こんにちは。ただ今ご紹介をいただきました警視庁生活安全部長の石田と申します。よろしくお願いいたします。

本日は、子供見守りシンポジウムを開催いたしましたところ、本当に大勢の方にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。まずは御礼を申し上げます。

皆様方には、子供を取り巻く犯罪、交通事故あるいは非行、いじめ、虐待など様々なリスクから子供を守るための諸活動に尽力いただき、また子供を見守るための活動あるいは地域の防犯パトロールなどで警察とも連携いただくなど、本当に日夜ご尽力をいただいております。この場をお借りして、厚く敬意と謝意を表したいと思っております。本当にありがとうございます。

さて、今日のテーマは「子供の安全確保」であります。6月28日に練馬区の大泉におきまして、シンポジウム開催のきっかけとなりました、小学生が刃物を持った男に切りつけられるという事件が発生いたしました。

この後、ご登壇いただきます児童の案内誘導をされている廣戸さんが、現場で刃物を持った男に横断旗で対峙し、子供を保護いたしました。そして、たまたま犯行現場を通りかかった地域の方が犯人が逃走する車両を途中まで追走し、犯人車両のナンバーを正確に通報したことで、比較的迅速に犯人を検挙することができました。こうしたことから、最悪の事態は逃れることができましたが、それでもこうした事件は練馬区だけでなく東京都あるいは日本国中に大きな衝撃を与えました。

こうした小学生を被害者とする犯罪は、実は都内で今年7月までに1,300件発生しております。中でも暴行や傷害という子供の身体に害を与えるような犯罪は約50件発生しております。また強制わいせつ、いわゆる性犯罪は今年増えておりました。小学生を被害者とするわいせつ事件は61件となっております。さらに犯罪には至らないものの、つきまといや声かけなど性犯罪の前兆となり得る事案は7月末までに320件発生しております。平均すると、毎日1件以上、都内のどこかでこうした事件、事案が発生しているということで、大変深刻な状況にあると認識しております。

子供の安全を守るためには、我々大人がやはりできる限りのことをしていかなければいけないと考えております。そのためには、学校、行政、警察、あるいは地域で子供の安全のために、様々な活動をされている皆様方あるいは保護者の方々、こうした関係者が情報を共有し、あるいは対策を実施するに際しては連携をしながら進めていくことがとても大切であると考えております。

本日のシンポジウムでは、こうした子供の安全に関係している機関、団体の方々から取組状況あるいは今後はどのようにしていくべきかというご意見をいただきます。また、パネルディスカッションでは地域社会全体として、子供の安全性を高めていくためにどうすべきなのかについて意見交換します。そうすることによって、今後のこうした活動がさらに充実していくことを期待しているところでございます。

結びになりますが、今回のシンポジウムの開催に当たりまして御尽力いただきました関係者の皆様方に心から感謝申し上げますとともに、まだまだ暑い日が続きますので皆様方の御健康と今後の御活躍をお祈り申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。本日、よろしくお願いいたします。

(以 上)